

授業科目	看護形態学	単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	本校専任教員				
科目目標	1. 解剖学と生理学を学ぶ意味がわかる。 2. 人体の部位や位置・方向を示す用語がわかる。 3. 人体を構成する細胞・組織・器官の名称および系統的分類としくみがわかる。 4. 生活行動を形成する諸器官の名称および系統的分類としくみがわかる。 5. ホメオスターシスの概念や重要性がわかる。				
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師
	1	2	生きていることとは（看護形態学を学ぶ意味）	講義	専任教員
	2	2	人体の区分と名称	講義	
	3	2	姿勢と運動①（骨格・筋・神経系）	講義	
	4	2	姿勢と運動②	講義・演習	
	5	2	食べる①（消化器系）	講義	
	6	2	食べる②	講義・演習	
	7	2	トイレに行く（泌尿器系）	講義	
	8	2	息をする①（呼吸器・循環器系）	講義	
	9	2	息をする②	講義・演習	
	10	2	恒常性維持のための物質の流通（血液・循環器系）	講義	
	11	2	恒常性維持のための調節機能①（内分泌・免疫系）	講義	
	12	2	恒常性維持のための調節機能②	講義	
	13	2	外部環境からの防御（外皮・神経系）	講義	
	14	2	話す 聞く（神経・感覚器系）	講義	
	15	2	まとめ 終講試験	講義・試験	
評価方法	筆記試験 80点 レポート課題 20点				
評価基準	60点以上で合格				
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学 医学書院 佐藤達夫監修：新版からだの地図帳 講談社 山内豊明：フィジカルアセスメントワークブック 医学書院				

授業科目	病理学		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	医師 (病理科)					
科目目標	1. 疾病理解の基礎となる病因ならびに病態と病変の特徴について理解する。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
	1	2	看護と病理学 病気の原因	講義	病理科医師	
	2	2	細胞の障害と適応	講義		
	3	2	細胞・組織の修復と創傷治癒	講義		
	4	2	循環障害	講義		
	5	2	播種性血管内凝固症候群	講義		
	6	2	炎症と免疫	講義		
	7	2	移植と再生医療	講義		
	8	2	感染症	講義		
	9	2	代謝障害	講義		
	10	2	老化と死	講義		
	11	2	先天異常	講義		
	12	2	遺伝子異常	講義		
	13	2	腫瘍の分類 悪性腫瘍の広がりや影響	講義		
	14	2	腫瘍の発生病理	講義		
	15	1	まとめ	講義		
	16	1	終講試験	試験		
評価方法	筆記試験 100 点					
評価基準	60 点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 [1] 病理学 医学書院					

授業科目	人体の構造機能と疾病論 I		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	医師 (消化器内科) 医師 (腎臓内科) 医師 (泌尿器科)					
科目目標	1. エネルギーの取り込みから排泄に関与する人体の構造・機能について理解する。 2. エネルギーの取り込みから排泄に関与する構造・機能が障害された時の病態・治療・検査について理解する。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
消化器	1	2	消化器系器官の構造	講義	消化器 内科医師	
	2	2	栄養の消化・吸収	講義		
	3	2	消化器疾患の診断に必要な情報	講義		
	4	2	上部消化管疾患	講義		
	5	2	下部消化管疾患	講義		
	6	2	肝・胆・膵疾患	講義		
腎臓	7	2	腎臓の構造と機能	講義	腎臓内科 医師	
	8	2	腎臓病の症状	講義		
	9	2	腎臓病に関する検査	講義		
	10	2	腎臓病の分類と代表的疾患	講義		
	11	2	慢性腎不全と急性腎不全	講義		
	12	2	腎代替療法	講義		
泌尿器	13	2	尿路・膀胱の構造と機能	講義	泌尿器科 医師	
	14	2	泌尿器の代表的疾患	講義		
	15	2	終講試験	試験		
評価方法	筆記試験 100 点 (消化器 45 点、腎臓 40 点、泌尿器 15 点)					
評価基準	60 点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔5〕消化器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔8〕腎・泌尿器 医学書院					

授業科目	人体の構造・機能と疾病論Ⅱ		単位数	2	時間数	45
担当講師 (実務経験)	医師 (血液内科) 医師 (循環器内科) 医師 (予防医療部)					
科目目標	1. 循環・呼吸に関与する人体の構造・機能について理解する。 2. 循環・呼吸に関与する構造・機能が障害された時の病態・治療・検査について理解する。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
血液・造血器	1	2	血液の成分と機能	講義	血液内科 医師	
	2	2	造血器系器官の構造と機能①	講義		
	3	2	造血器系器官の構造と機能②	講義		
	4	2	貧血	講義		
	5	2	造血器腫瘍の分類と代表的治療法	講義		
	6	2	多発性骨髄腫	講義		
	7	2	出血性疾患	講義		
	8	1	終講試験	試験		
循環器	9	2	心臓血管系器官の構造と機能	講義	循環器 内科医師	
	10	2	循環器疾患の症状と検査	講義		
	11	2	肺高血圧と先天性心疾患	講義		
	12	2	冠動脈疾患	講義		
	13	2	動脈・静脈疾患と高血圧	講義		
	14	2	心不全・弁膜症・心筋症	講義		
	15	2	不整脈	講義		
	16	1	終講試験	試験		

呼吸器	17	2	呼吸器系器官の構造	講義	予防医療部 医師
	18	2	呼吸調節と換気運動、ガス交換	講義	
	19	2	呼吸不全と酸素療法	講義	
	20	2	呼吸器感染症	講義	
	21	2	気道疾患	講義	
	22	2	肺腫瘍	講義	
	23	2	間質性肺疾患	講義	
	24	1	終講試験	試験	
評価方法	筆記試験：血液・造血器 100 点 循環器 100 点 呼吸器 100 点				
評価基準	血液・造血器、循環器、呼吸器の合計点の平均点が 60 点以上で合格				
テキスト	系統看護学講座	専門基礎分野	人体の構造と機能〔1〕解剖生理学	医学書院	
	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学〔2〕呼吸器	医学書院	
	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学〔3〕循環器	医学書院	
	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学〔4〕血液・造血器	医学書院	

授業科目	人体の構造・機能と疾病論Ⅲ		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	医師 (糖尿病・内分泌内科) 医師 (産婦人科) 医師 (乳腺外科) 医師 (泌尿器科)					
科目目標	1. 生体機能の調整および生殖に関する人体の構造・機能について理解する。 2. 生体機能の調整および生殖に関する構造・機能が障害された時の病態・治療・検査について理解する。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
内分泌・代謝	1	2	内分泌系器官の位置と構造	講義	糖尿病 内分泌 内科医師	
	2	2	内分泌系調節の特徴	講義		
	3	2	視床下部・下垂体疾患	講義		
	4	2	甲状腺疾患・副甲状腺疾患	講義		
	5	2	副腎疾患・性腺疾患	講義		
	6	2	糖尿病の病態と分類・診断	講義		
	7	2	糖尿病の食事療法	講義		
	8	2	糖尿病の運動療法・薬物療法	講義		
	9	2	糖尿病の合併症	講義		
女性生殖器	10	2	女性生殖器の構造と機能	講義	産婦人科 医師	
	11	2	女性生殖器のおもな疾患	講義		
乳癌	12	2	乳腺の構造と乳がん	講義	乳腺外科 医師	
生殖器 男性	13	2	男性生殖器の構造と機能	講義	泌尿器科 医師	
	14	2	男性生殖器のおもな疾患	講義		
	15	2	終講試験	試験		
評価方法	筆記試験 100 点 (内分泌 65 点、女性生殖器 14 点、乳がん 7 点、男性生殖器 14 点)					
評価基準	60 点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕解剖生理学 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔6〕内分泌・代謝 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔8〕腎・泌尿器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔9〕女性生殖器 医学書院					

授業科目	人体の構造・機能と疾病論Ⅳ		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	医師 (整形外科) 医師 (皮膚科) 医師 (耳鼻咽喉科) 医師 (眼科) 医師 (口腔外科)					
科目目標	1. 情報の需要と行動に関与する骨格・筋肉系ならびに皮膚・感覚器系の構造・機能について理解する。 2. 骨格・筋肉系ならびに皮膚・感覚器系の構造・機能が障害された時の病態・治療・検査について理解する。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
骨格・筋肉	1	2	骨格・関節の構造と機能	講義	整形外科 医師	
	2	2	筋肉の構造と機能	講義		
	3	2	骨折～総論	講義		
	4	2	骨折～各論	講義		
	5	2	変形性関節症	講義		
	6	2	脊椎疾患	講義		
皮膚	7	2	皮膚の構造と機能	講義	皮膚科 医師	
	8	2	皮膚疾患	講義		
耳鼻	9	2	耳鼻咽喉の構造と機能	講義	耳鼻咽喉科 医師	
	10	2	耳鼻咽喉疾患	講義		
眼	11	2	眼の構造と機能	講義	眼科医師	
	12	2	眼疾患	講義		
口腔	13	2	口腔・歯の構造と機能	講義	口腔外科 医師	
	14	2	口腔疾患	講義		
	15	2	終講試験	試験		
評価方法	筆記試験 100点 (骨格・筋肉 44点、皮膚 14点、口腔 14点、耳鼻 14点、眼 14点)					
評価基準	60点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座	専門基礎分野	人体の構造と機能〔1〕解剖生理学	医学書院		
	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学〔10〕運動器	医学書院		
	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学〔12〕皮膚	医学書院		
	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学〔13〕眼	医学書院		
	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学〔14〕耳鼻咽喉	医学書院		
	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学〔15〕歯・口腔	医学書院		

授業科目	人体の構造・機能と疾病論 V		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	医師 (脳神経外科) 医師 (神経内科)					
科目目標	1. 情報の受容と行動に関与する脳・脊髄の中枢・末梢神経の構造・機能について理解する。 2. 脳・脊髄の中枢・末梢神経の構造・機能が障害された時の病態・治療・検査について理解する。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
脳・神経の構造と機能 脳疾患	1	2	中枢神経系・末梢神経系の構造と機能	講義	脳神経外科	
	2	2	脳・脊髄の保護構造と循環系 運動機能と感覚機能	講義	医師	
	3	2	脳・神経疾患のおもな症状と病態生理	講義		
	4	2	脳・神経疾患の診断に必要なおもな検査	講義		
	5	2	脳血管障害①	講義		
	6	2	脳血管障害②	講義		
	7	2	脳腫瘍	講義		
	8	2	頭部外傷	講義		
	9	2	脳脊髄液の異常	講義		
	10	1	まとめ	講義		
神経内科疾患	11	2	末梢神経障害	講義	神経内科	
	12	2	脳・神経系の感染症	講義	医師	
	13	2	認知症	講義		
	14	2	筋疾患・神経筋接合部疾患	講義		
	15	2	脱髄・変性疾患	講義		
	16	1	終講試験	試験		
評価方法	筆記試験 100 点 (脳・神経の構造と機能 脳疾患 70 点、神経内科疾患 30 点)					
評価基準	60 点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [7] 脳・神経 医学書院					

授業科目	精神の機能と疾病		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	非常勤講師 医師 (心療内科・精神科)					
科目目標	1. 成長発達と心の成熟および発達危機について理解する。 2. 状況的危機や精神を病んでいる時の症状や治療について学ぶ。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
心の構造と機能	1	2	こころとは ライフサイクルに沿った成長発達	講義	非常勤講師	
	2	2	発達課題とこころの関係①	演習		
	3	2	発達課題とこころの関係②	演習		
	4	2	クライシス (精神的危機) とは	講義		
	5	2	心的外傷	講義		
	6	2	精神疾患の発症	講義		
精神疾患と治療	7	2	自我機能と障害	講義	心療内科 医師	
	8	2	精神症状の種類と病態	講義		
	9	2	精神疾患の診断方法と主な治療法	講義		
	10	2	統合失調症	講義		
	11	2	気分障害	講義		
	12	2	神経症障害	講義		
	13	2	パーソナリティ障害	講義		
	14	2	器質性精神障害 神経発達障害	講義		
	15	2	終講試験	試験		
評価方法	筆記試験 100 点 (心の構造と機能 40 点、精神疾患と治療 60 点)					
評価基準	60 点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 医学書院					

授業科目	人体の成長発達と疾病	単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	医師 (小児科) 専任教員				
科目目標	1. 小児各期の形態的成長・機能的発達・精神運動器能・心理・社会的発達について理解する。 2. 小児期特有の疾病の病態・検査・治療について理解する。				
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師
人体の構造・機能	1	2	成長・発達の原則	講義	専任教員
	2	2	新生児期・乳児期の成長と発達と看護	講義	
	3	2	幼児期の成長と発達と看護	講義	
	4	2	幼児期の成長と発達と看護	講義	
	5	2	学童期の成長と発達と看護	講義	
	6	2	思春期の成長と発達と看護	講義	
	7	2	小児看護で用いられる理論	講義	
主な疾患の病態・検査・治療	8	2	先天異常・低出生体重児の疾患	講義	小児科 医師
	9	2	若年性関節リウマチ・アトピー性皮膚炎	講義	
	10	2	麻疹・風疹・水痘、流行性耳下腺炎	講義	
	11	2	気管支喘息・肺炎・細気管支炎・川崎病・	講義	
	12	2	ファロー四徴症・腸重積・紫斑病	講義	
	13	2	神経細胞腫・白血病・ネフローゼ症候群・	講義	
	14	2	てんかん・脳性麻痺・先天性股関節脱臼	講義	
	15	2	終講試験	試験	
評価方法	筆記試験 100点 (人体の構造機能 50点、主な疾患の病態・検査・治療 50点)				
評価基準	60点以上で合格				
テキスト	系統看護学講座 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論 医学書院				

授業科目	特殊治療学		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	医師 (放射線科) 医師 (放射線治療科) 医師 (麻酔科) 医師 (消化器外科) 医師 (心臓血管外科) 医師 (呼吸器外科)					
科目目標	1. 放射線診断と放射線治療について理解する。 2. 麻酔の特徴と治療法について理解する。 3. 手術療法と手術侵襲に対する生体反応および機序を理解する。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
診断 放射線	1	2	X線とCT画像診断について	講義	放射線科 医師	
	2	2	MRI、超音波検査、核医学検査、IVRについて	講義		
治療 放射線	3	2	放射線治療の原理と種類、正常組織の有害反応	講義	放射線治療科 医師	
	4	2	放射線治療各論	講義		
麻酔	5	2	全身麻酔と局所麻酔	講義	麻酔科 医師	
	6	2	麻酔によるペインコントロール	講義		
手術療法 開腹術	7	2	術前検査と術前管理	講義	消化器外科 医師	
	8	2	手術侵襲に対する生体反応の機序と経過	講義		
	9	2	術後管理	講義		
	10	2	肝胆膵手術	講義		
	11	2	上部消化管手術	講義		
	12	2	下部消化管手術	講義		
心臓	13	2	心臓血管外科手術と術後管理	講義	心臓血管外科 医師	
肺	14	2	肺切除術と術後管理	講義	呼吸器外科 医師	
	15	2	終講試験	試験		
評価方法	筆記試験 100点 (放射線診断 14点、放射線治療 14点、麻酔 14点、手術療法および開腹術 44点、肺切除術 7点、心臓血管外科手術 7点)					
評価基準	60点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床外科総論 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科各論 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 医学書院					

授業科目	生化学		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	非常勤講師					
科目目標	1. 人体の生理機能を化学的に理解する。 2. 人体の構成成分である化学物質の性状、分布および代謝について理解する。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
	1	2	生化学とは 代謝について	講義	非常勤講師	
	2	2	糖質の構造と性質	講義		
	3	2	脂質の構造と性質	講義		
	4	2	アミノ酸とタンパク質 酵素	講義		
	5	2	ヌクレオチドと核酸	講義		
	6	2	糖代謝① 解糖系	講義		
	7	2	糖代謝② クエン酸サイクル	講義		
	8	2	糖代謝③ 電子伝達 ペントースリン酸サイクル	講義		
	9	2	糖代謝④ 糖新生 グリコーゲン代謝	講義		
	10	2	脂質代謝	講義		
	11	2	アミノ酸代謝	講義		
	12	2	遺伝子複製	講義		
	13	2	遺伝子転写と翻訳	講義		
	14	2	まとめ① 生体分子の構造と性質	講義		
	15	1	まとめ② 代謝	講義		
	16	1	終講試験	試験		
評価方法	筆記試験 100 点					
評価基準	60 点以上で合格					
テキスト	山口雄輝編著 基礎からしっかり学ぶ生化学 羊土社					

授業科目	栄養学		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	非常勤講師					
科目目標	1. 人間にとっての栄養の意義を理解する。 2. ライフサイクルにおける健康的な食生活を理解する。 3. 食事療法の基本を学ぶ。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
	1	2	人間栄養学と看護	講義	非常勤講師	
	2	2	栄養素の種類とはたらき① 三大栄養素	講義		
	3	2	栄養素の種類とはたらき② ビタミン、ミネラル、食物繊維、水	講義		
	4	2	栄養状態の評価、判定	講義		
	5	2	食事療法の意義 治療食分類	講義		
	6	2	消化器疾患の食事療法 心臓・腎臓疾患の食事療法	講義		
	7	2	糖尿病の食事療法 食品交換表	講義		
	8	4	高血圧の食事療法の献立作成および調理	調理実習		
	9	2	エネルギー代謝	講義		
	10	2	栄養素の消化・吸収	講義		
	11	2	血漿成分と栄養素 代謝と排泄	講義		
	12	2	ライフステージと栄養① 乳幼児期～成人期	講義		
	13	2	ライフステージと栄養② 妊娠期、更年期、老年期	講義		
	14	1	まとめ	講義		
	15	1	終講試験	試験		
評価方法	筆記試験 100点					
評価基準	60点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔3〕栄養学 医学書院					

授業科目	薬理学		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	薬剤師 (薬剤部部長)					
科目目標	1. 薬物の特徴、作用機序、人体への影響および薬物の管理について理解する。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
	1	2	薬理学総論	講義	薬剤師	
	2	2	末梢神経系作用薬	講義		
	3	2	中枢神経系作用薬	講義		
	4	2	抗高血圧薬	講義		
	5	2	心臓作用薬	講義		
	6	2	輸液・腎臓作用薬	講義		
	7	2	血液・造血器系作用薬	講義		
	8	2	抗炎症薬	講義		
	9	2	呼吸器系作用薬	講義		
	10	2	消化器系作用薬	講義		
	11	2	ホルモン系作用薬	講義		
	12	2	生殖器系作用薬	講義		
	13	2	抗感染症薬	講義		
	14	2	抗悪性腫瘍薬	講義		
	15	1	漢方薬	講義		
	16	1	終講試験	試験		
評価方法	筆記試験 100点					
評価基準	60点以上で合格					
テキスト	安原一 小口勝司編 わかりやすい薬理学 ニューヴェルヒロカワ					

授業科目	微生物学		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	非常勤講師					
科目目標	1. 微生物の特徴と生体に及ぼす影響について理解する。 2. 感染に対する生体防御機構について理解する。 3. 各微生物に応じた感染予防対策を学ぶ。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
	1	2	微生物概論	講義	非常勤講師	
	2	2	細菌・真菌の性質	講義		
	3	2	原虫・ウイルスの性質	講義		
	4	2	感染と感染症	講義		
	5	2	自然免疫のしくみ	講義		
	6	2	獲得免疫のしくみ	講義		
	7	2	感染症の主な検査と治療	講義		
	8	2	病原細菌と感染症① グラム陽性菌、グラム陰性菌、抗酸菌、嫌気性菌	講義		
	9	2	病原細菌と感染症② スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア	講義		
	10	2	病原真菌と感染症、病原原虫と感染症	講義		
	11	2	DNA ウイルスと感染症	講義		
	12	2	RNA ウイルスと感染症	講義		
	13	2	肝炎ウイルス レトロウイルス	講義		
	14	2	HIV、ヘルペスウイルス	講義		
	15	2	終講試験	試験		
評価方法	筆記試験 100 点					
評価基準	60 点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進〔4〕微生物学 医学書院					